



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

岡山県高等学校家庭科教員研修会

マネープランニングの必要性と主な金融商品

2023年8月7日

日本証券業協会
金融・証券インストラクター 倉橋 孝博

本資料は、日本証券業協会（以下、日証協）が作成したものです。本資料は、金融知識習得の一助となる事を目的とし、特定の有価証券等の勧誘を目的として作成されたものではありません。日証協は、インターネットを通じて提供されている情報を含め、信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確である事を保証するものではなく、日証協は、本資料に記載された情報を使用する事により、投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。また、当該意見・見通しは、将来予告なしに変更される事があります。



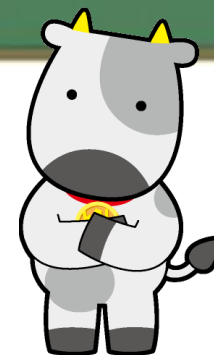
- ライフイベントにかかるお金の目安
- 若いうちからこつこつと目的を持ってお金を準備しましょう
- 投資って何だろう？
- リスクとリターンの関係性
- どんな金融商品があるの？
- 「長期・積立・分散」投資による運用
- 金融商品を購入する際に気をつけたいこと



Q1. 世の中には安全で大儲けできる金融商品
があると思いますか？

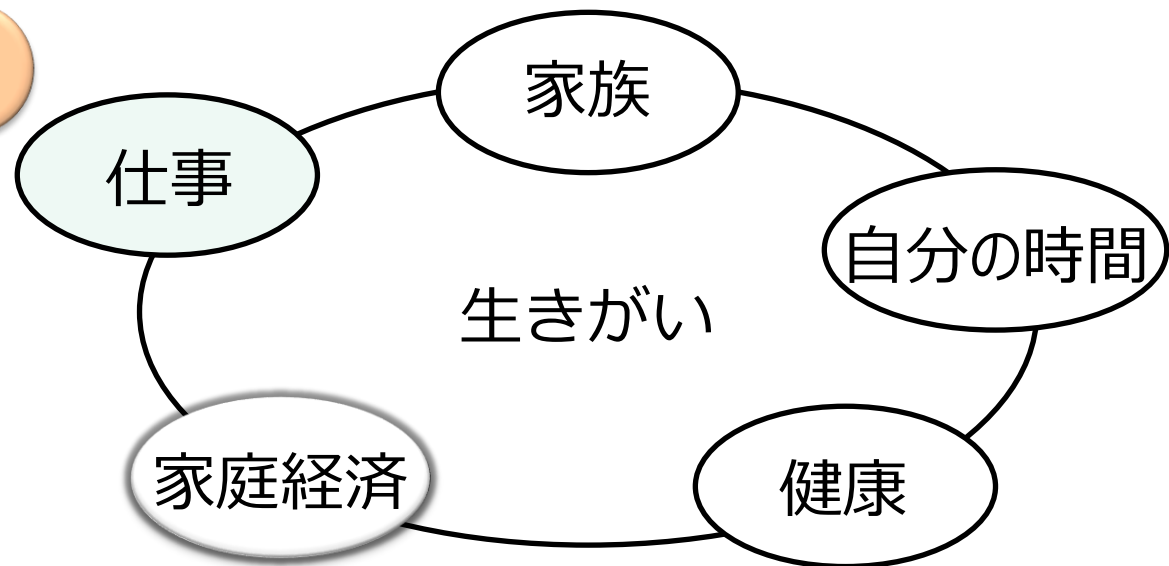
Q2. 投資って社会の役に立っているので
しょうか？

10
月
4
日
証券投資の日



ライフプランとは、 “生きがい”ある人生を送るための一生の生活設計

ライフプランの5つの輪



- ◎ あなたの**夢**や**希望**は？
- ◎ 自分らしい**生き方**や理想の**暮らし**とは？
- ◎ 自分や家族の将来にどんな**イベント**がありますか？

それには、いくらかかるのでしょうか？
(マネープラン = 経済生活設計、資金計画)

将来のための「マネープラン」はなぜ必要？

● 少子高齢化 ➡ 社会保険料や税金が増加の予想

● 物 価 ➡ 上昇傾向 デフレからインフレへ

● 金 利 ➡ 低い 預金してもふえない

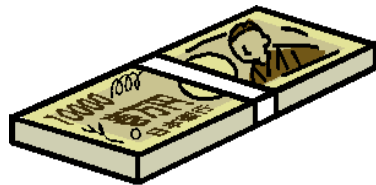
定期預金金利（1年もの） **0.002%**（2023年4月現在）

100万円を定期預金に1年間預ける

➡ 20円しかふえない。（税金を考慮しない場合）

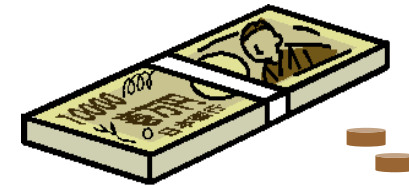
➡ 将来かかる**お金を把握**することが**必要**

ライフプラン・マネープランの必要性 インフレによる目減りリスク



現在の
100万円

年0.002%
複利で預けると？



1年後
100万20円



現在の値段
100万円

毎年1%ずつ
物価が上昇すると？



1年後の値段
101万円

預貯金金利 < 物価の上昇率

結果的にお金の価値は
目減りしてしまう

「何のために」「いつ」「いくら必要」を整理



**マネープランが、充実した人生の
可能性や選択肢を広げるきっかけとなります**

ライフプラン・マネープランの必要性 自分で用意するお金の目安

0歳

100歳・・・

生活

結婚
約471万円

出典:リクルートブライダル
総研「ゼクシィ結婚トレンド
調査2020調べ」

**こどもの
教育**
約1,347万円
(幼稚園～高校(公立)・
大学私立)

出典:文部科学省「令和3年度子
供の学習費調査」、日本学生支援
機構「令和2年度学生生活調査」

住居
約4,528万円
(新築マンション)

出典:住宅金融支援機構
「2021年度フラット35利用者
調査」

老後の生活
(年金以外にいくら必要?)
約1,470万円～

出典:総務省 家計調査年報・全国家
計構造調査 2019年(令和元年) 夫65
歳以上、妻60歳以上の夫婦のみ世帯で、
二人で生活する期間19年間、妻一人の
期間10年間

働く

就職

開業 約282万円 (自己資金)

出典:日本政策金融公庫総合
研究所「2021年度起業と起業
意識に関する調査」

転職 10万円未満 (32.0%) 10～50万円未満 (25.0%)
(退職後の転職費)

出典:リクナビNEXT

ライフプラン・マネープランの必要性 ライフイベント表の作成

年齢	イベント	費用	費用の準備方法
20	キャリアアップのため資格を取りたい		
21			
22	海外旅行に行きたい	12万円	20歳から毎月5,000円積立て
23			
24	一人暮らしを始めたい	24万円	22歳から毎月10,000円積立て
25			
26			
27	結婚したい		
28			
29	子供が欲しい		
30	...		



「自分はどうしたいか?」「どうなっているといいな」と思う内容を、
思うままに書き出してみましよう。それを実現するには「お金はいくら位かかるか」「その金額を
どうやって準備するか」も書き出しましょう。

遠い将来の老後について見ておきましょう 日本の公的年金と国民皆保険

日本の公的年金は2階建て構造で**高齢期の生活を支える**制度



日本の公的年金は2階建て構造 生活の**最低レベルの費用を保障**するもの
→ 公的年金だけでは不十分だと言われています

公的医療保険制度により、「**もしもの備え**」はある程度カバー

小学校入学まで
2割負担*



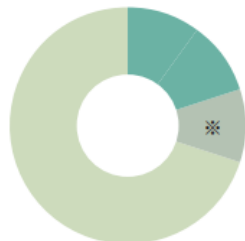
※自治体により負担が異なる

小学校入学後*から69歳まで
3割負担



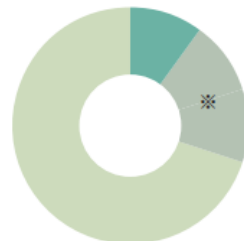
※小学校入学後でも自治体により医療費の助成が行われています

70歳から74歳まで
2割負担



※現役並みの所得がある人は3割負担

75歳以上
1割負担*



※現役並みの所得がある人は3割負担

足りない部分を自助（資産形成）で補う必要があります

★「年金収入+その他の合計所得金額」が、単身世帯は200万円以上、複数世帯は合計320万円以上の人は、2割負担

出典：日本医師会ホームページ「世界に誇れる日本の医療保険制度」より

リタイア後の家計収支（月々の内訳）

1か月の家計収支：高齢夫婦無職世帯の家計収支 （夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの場合）

預金等で補てん
54,019円

単位：%

社会保障給付 **216,910円**

91.3

年金以外の
不足額

実支出 **270,929円**

非消費支出

消費支出 **239,947円**

30,982円

家事用品 4.2

被服 2.5

単位：%

	食料 27.7	住居 5.7	水光熱 8.3	保健医療 6.6	交通通信 11.8	教養娯楽 10.3	その他 22.8
--	------------	-----------	------------	-------------	--------------	--------------	-------------

出典：総務省統計局 家計調査年報 2019年(令和元年)

ライフプラン・マネープランの必要性 ライフイベントをシミュレーションしてみよう

ライフプランのシミュレーションができるサイトです

金融庁

ライフプラン
シミュレーター



金融広報中央委員会 (知るぽると)

ライフプランシミュレーション
生活設計診断



全国銀行協会

ライフプラン
シミュレーション



日本FP協会

ライフプラン診断



世帯主の年齢から貯蓄額まで9項目を入力

ライフプラン・マネープランの必要性

ライフプランを描いてみよう

入力項目

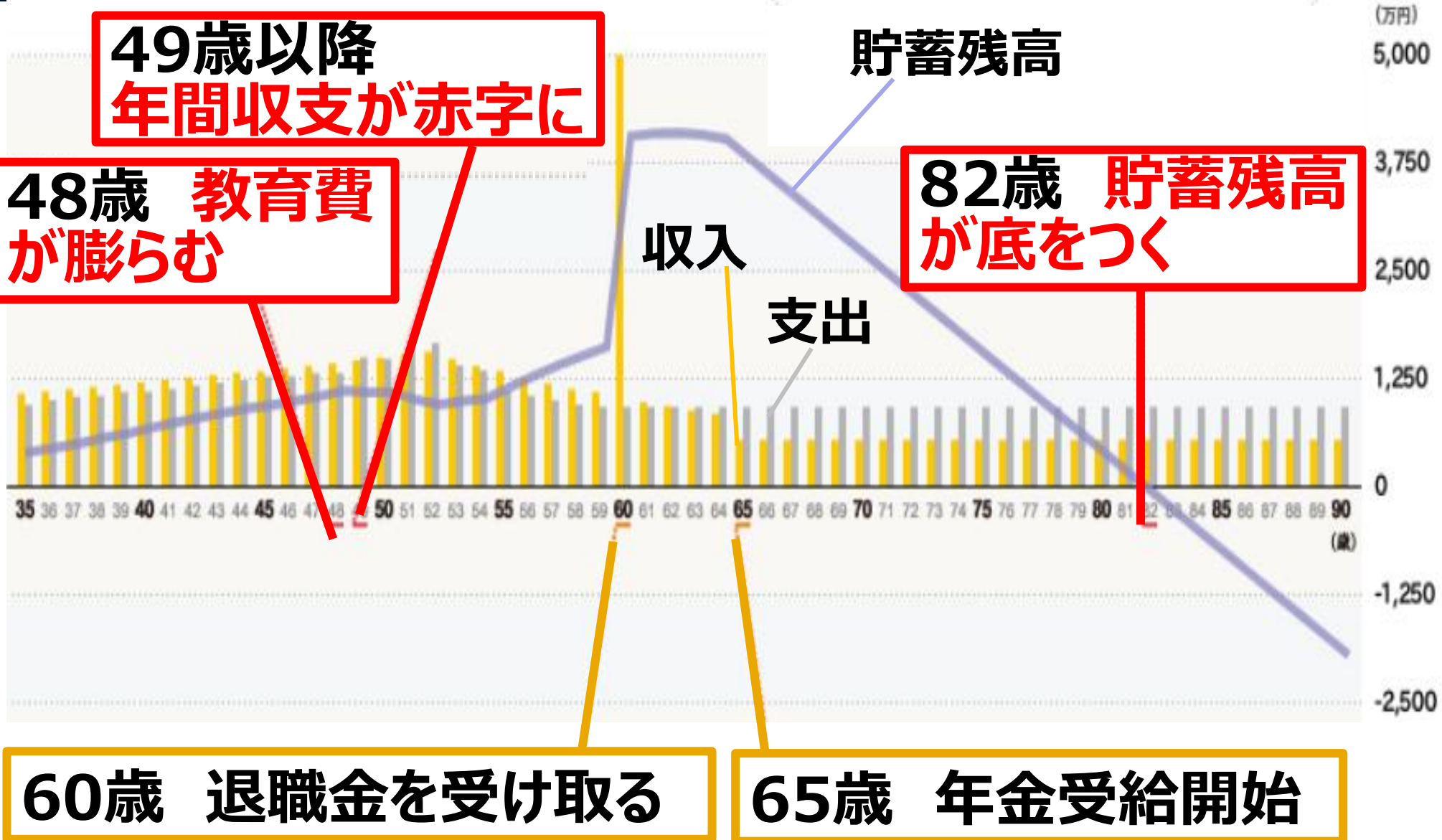
- 01 世帯主 : 30代
- 02 // 職業 : 会社員・公務員(退職金あり)
- 03 配偶者 : あり
- 04 // 職業 : 会社員・公務員(退職金あり)
- 05 子ども : 2人
- 06 世帯年収 : 800万円
- 07 生活費 : 40万円/月
- 08 住居費 : 5万円/月
- 09 貯蓄額 : 300万円

診断したライフスタイル条件



ライフプラン・マネープランの必要性

ライフプランを描いてみよう



若いうちからコツコツとお金を貯めましょう

60歳までに1,000万円をためるには
毎月いくら積み立てる必要があるでしょうか？

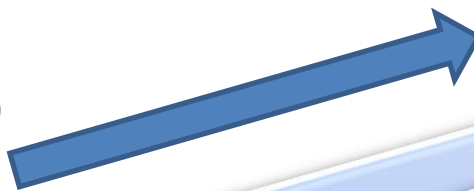
GOAL

1,000万円



時間を味方につける

START



20歳

毎月

約 **2.1** 万円

30歳

毎月

約 **2.8** 万円

40歳

毎月

約 **4.2** 万円

50歳

毎月

約 **8.4** 万円

60歳

商品を購入するときのおもな4つの方法

- 現金 その場で支払う
- 電子マネー 事前に入金して払う
- クレジット
（カードで支払う） 後日カード会社に購入
金額を支払います
- ローン
（お金を借りて
支払う） 返済期日までに、銀行や
消費者金融会社などに
利息をつけて返します

計画的にすべて事前にお金を準備できるわけではないので、お金を借りるケースも出てくる

お金を借りる

ともに**借金**である点に注意
契約者には**返済の義務**があります

手元資金が足りない時でも希望するタイミングで購入できるメリット

お金を借りることは、**将来の収入の先取り**であることを理解する

返済が続くことで生活に使えるお金が減少することをイメージする

計画的なお金の管理（クレジットの場合）

キャッシュレス・後払いしたいもの

クレジット

クレジットカード → キャッシング（現金を引き出して借りる）

クレジット（物・サービスを買うためにお金を借りる）

一括払い

分割払い

リボルビング払い

翌月（又は翌々月）に一括で支払う
手数料は掛からない

回数を指定して分けて支払う
金利相当の手数料が掛かる
利用が重なると分割しても毎月の返済金額が大きくなる

いくら使っても毎月の返済額は一定であったりすることから、借りやすい反面、借入金が減らず、返済期間が長くなるため、支払う手数料（金利）が大きくなる傾向がある

返済回数等	1~2回	6~15回	18~36回	リボ払い	キャッシング
一般的な手数料	なし	11~15%	12~15%	12~15%	15~18%

☆クレジットカードを使う際の自分のルールを決めておく

例：ポイントを貯めるだけに使用し、1回払い（一括払い）とする

☆金利に注意

例：金利14.5%で50万円借入れ、毎月1万円返済すると

⇒ 返済まで6.5年かかって、合計78万円返済することになる

多重債務に注意

収入の範囲内で生活する
高金利で借りない
複数の業者から借りない
遊興費のために借りない
返済のための借入れはしない

預貯金

(預金、貯金)



投資商品

(株式、債券、
投資信託etc.)



利用目的 確実に貯める

積極的にふやす

元本保証 あり

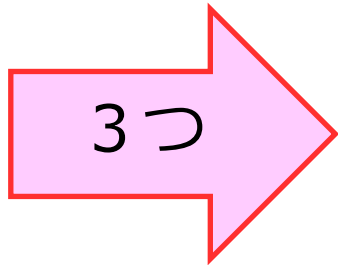
なし

換金 原則、即時

日数がかかる

金融商品を選択する際の3つのポイント

金融商品の特徴を見分けるポイント



安全性
元本(元手)や利子の支払いが確実か。

収益性
期待できる収益の大きさ。

プラス

流動性
必要なときにすぐに換金できるか。

金融商品の比較例

		安全性	収益性	流動性
普通預金	収益性は高くはないが 安全性、流動性は高い	◎	△	◎
国内株式	安全性は低くても大きな 収益性が期待できる	△	◎	○
国内債券	収益性も少しありつつ 安全性も高い	○	○	△

3つとも◎の商品はない

※上記は一般的な比較例であり、個別の金融商品全てにあてはまるものではありません。

資産運用を考えてみよう 自分のお金を3つに分類

投資は、「当面使う予定がないお金」で行うのが基本

ココを投資に！

将来に備えて資産をつくる
つみたて投資もココに含まれる

車の購入
旅行費用など

**ココは
仕組み化で**

当面使う
予定が
ないお金

近く使い道が
決まっている
お金

日々の生活に
必要なお金

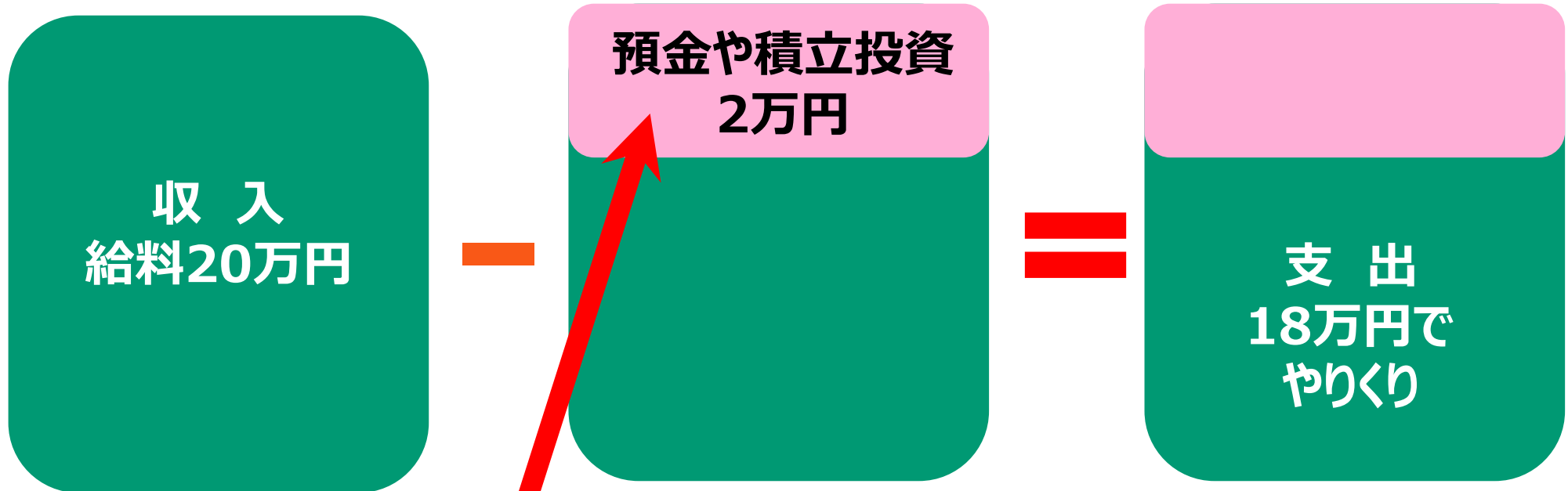
ココは預貯金で

お金の使いみち

食費
住宅費
(家賃・ローンの返済)
光熱費
その他の予備費など

医療費など、
**急な出費のための
予備費を残しておく**
ことも忘れずに

支出は収入の範囲内でやりくりするのが基本



**先に差し引くことがポイント！！
「給与天引き」や「給与引き落とし」による仕組み化を！**

貯蓄や投資にまわせるお金

令和 ○年 ○月分○○株式会社 **給与支給明細書**
 社員コード XXXXXX 氏名 ○○○○

(単位：円)

勤怠項目	出勤日数	欠勤日数	有給休暇	代休日数	特別休暇	
	22日	0日	0日	0日	0日	
支給項目	基本給	家族手当	時間外手当	通勤手当	資格手当	総支給額
	200,000		5,000	15,000		220,000
控除項目	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	介護保険		社会保険合計
	10,890	20,130	660			31,680
	5 所得税	6 住民税				税額合計
	3,840	9,900				13,740
						総控除額
						45,420
集計	総支給額	総控除額				差引支給額
	220,000	45,420				174,580

**これが実際に手に
するお金です**

投資は社会貢献 (SDGs)

民間事業などの拡大



公共投資・企業活動

事業の拡大
公共投資の増加

製品の製造・
サービスの提供

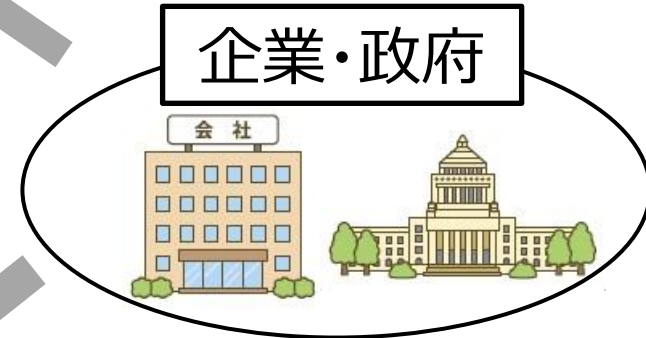
暮らしやすさの向上・
社会問題の解決

家計



株価上昇・配当・利金

企業・政府



投資 (株式、国債など)

事業の拡大に伴い業績UP

給料
(生活資金を提供)

給与が上がり
生活が向上

雇用

雇用の拡大



家計からの投資が企業や政府などの活動を支え、
持続可能な社会の形成につながっていく

SDGs（持続可能な開発目標）



ESGに取り組む企業への株式投資や気候変動抑制や再生エネルギー供給や気候変動抑制等、SDGsの目標達成に貢献するプロジェクトへ資金を供給するような金融商品（SDGs債等）へ投資
→個人も投資を通じてSDGsへ貢献することが可能



「投資」は「ギャンブル」ではありません

投資は「お金がふえるか、損をするかわからない」という点で、ギャンブルと比較されがちですが、投資とギャンブルは本質的に目的や仕組みが異なります

投資

投資先の会社や国がその成長を目的として資金を集める。利益などを（応援の）対価として投資家が受け取るなど社会全体にとって有益なものです

ギャンブル



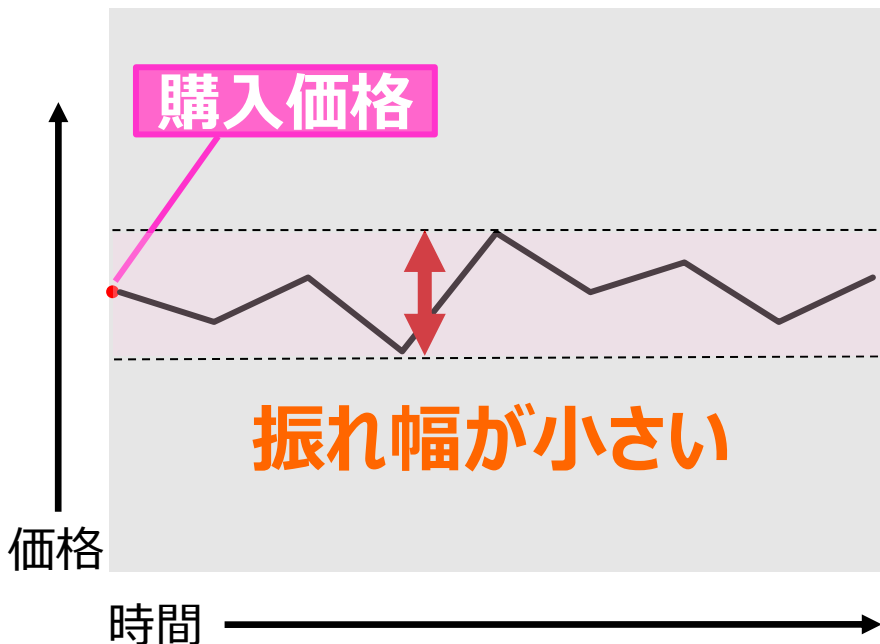
娯楽が目的。賭金から主催者の運営料を差し引いた金額を勝敗に応じて分け合います

「リスク」とは、「リターン」とは

金融商品でリスクとは、
リターンが不確実である（予測できない）こと

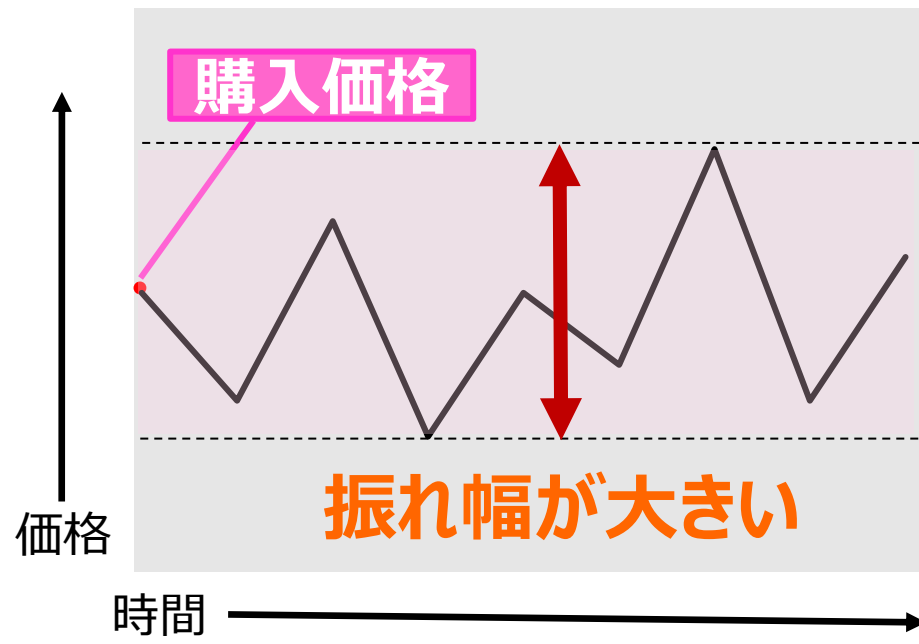
リスクが小さい

預金、債券など

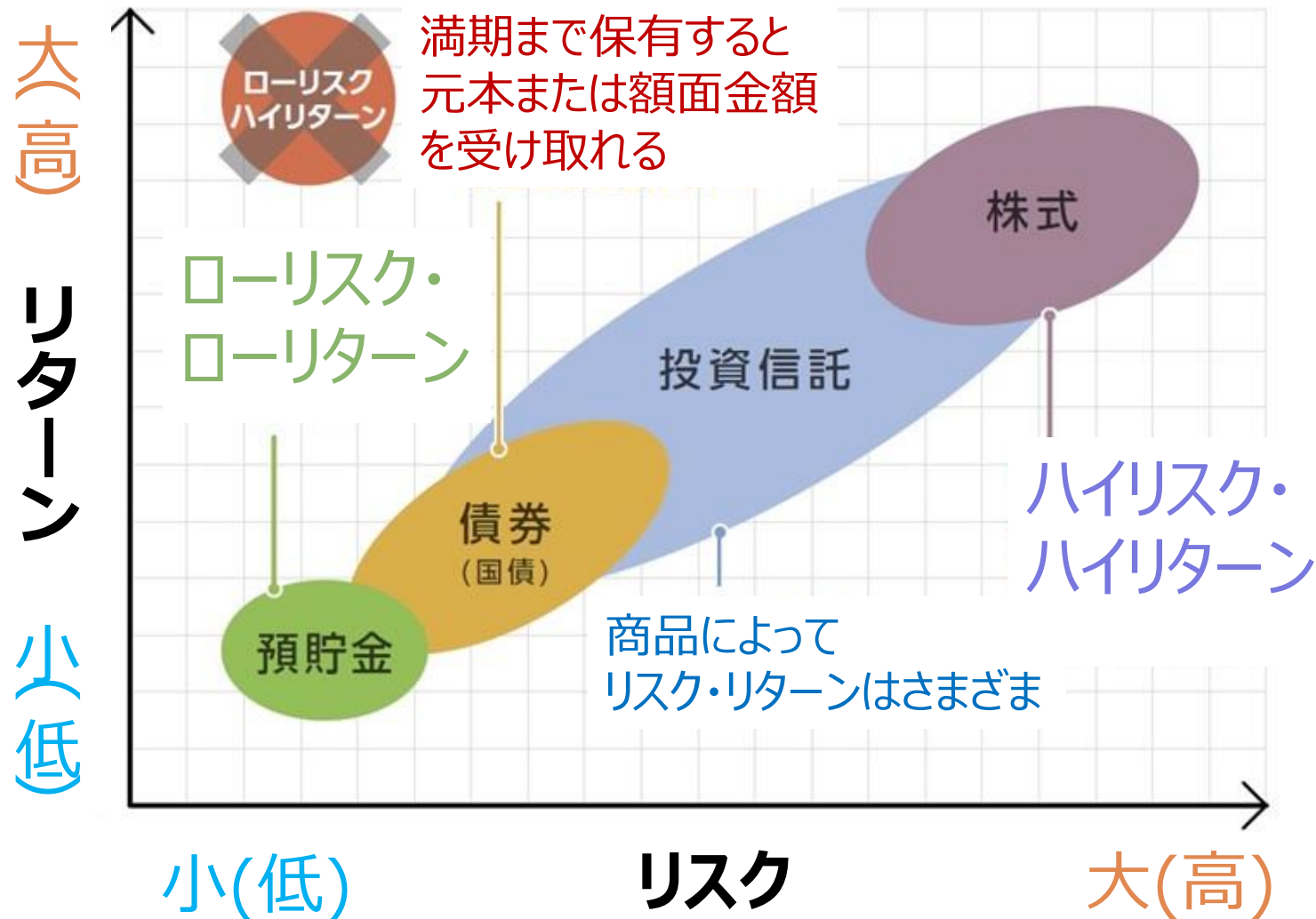


リスクが大きい

株式、株式投資信託など



「ローリスク・ハイリターン」の金融商品はない



① 信用リスク

株式

債券

投資信託

投資先企業の経営状況による価格の**振れ幅**など

② 価格変動リスク

株式

債券

投資信託

換金する際の受取金額が、購入金額を**上回る～下回る振れ幅**

③ 為替変動リスク

外国株式

外国債券

外国投信

外貨建ての金融商品の換金・満期の際の円での手取り額が、
購入（預入）金額を**上回る～下回る振れ幅**

④ カントリーリスク

外国株式

外国債券

外国投信

海外の商品で資産運用する場合の、その国の信用リスク

- ◆ 会社が発行している「株式」を買って保有、売却して収益を得る
- ◆ 会社の成長が収益をもたらす

株式投資の魅力

値上がり益
(キャピタル・ゲイン)



配当益
(インカム・ゲイン)



株主優待





価格変動リスク

買付時より値上がりや値下がりすること

信用リスク

投資先企業の財務状況や経営状況などから生じる価格の振れ幅をいう

(マイナス面のリスクは将来の経営悪化や破綻懸念)

リスクに対応

時間分散

一度に買わず、タイミングを何度かに分けて買う

銘柄分散

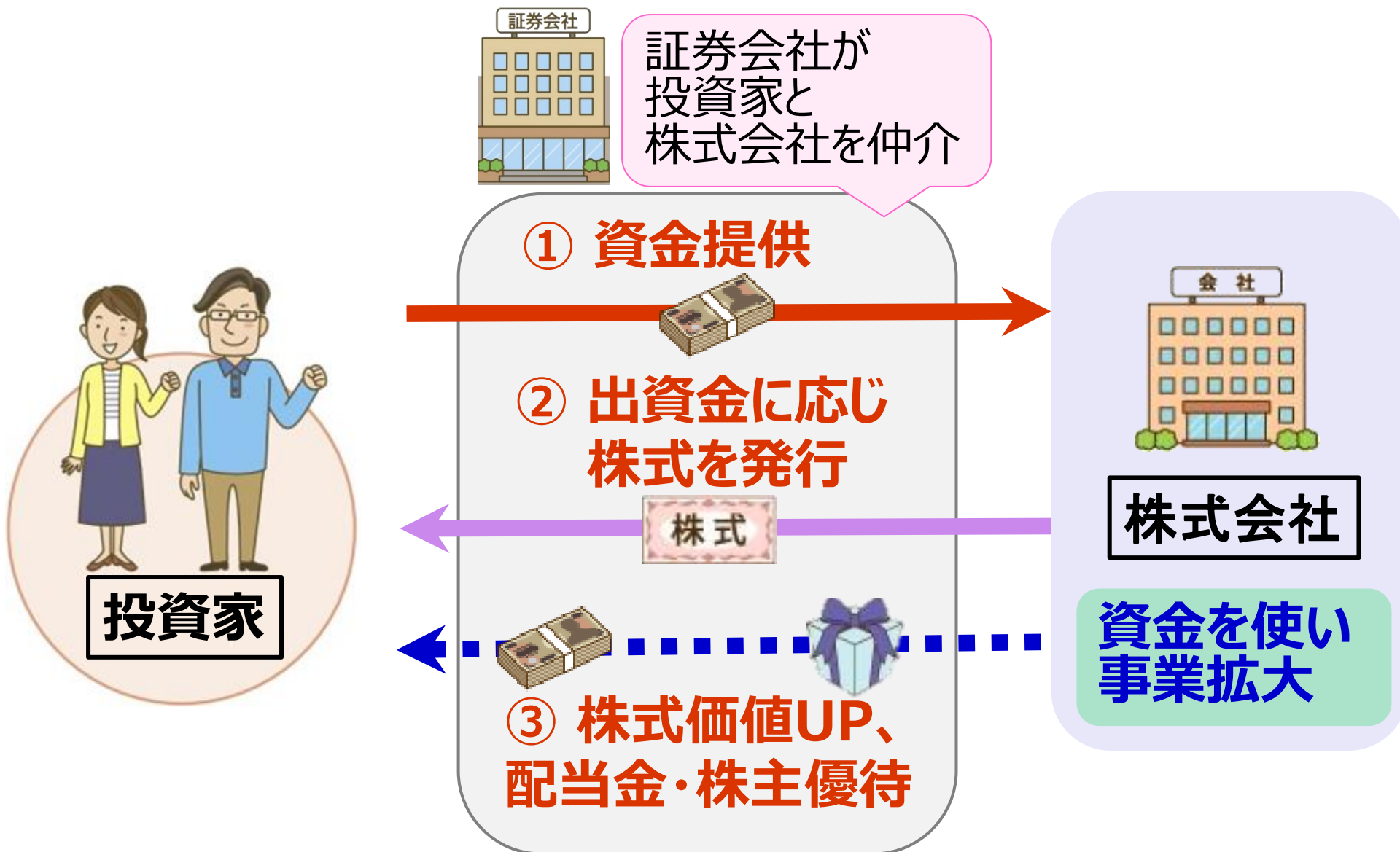
複数の会社や業種に分散してバランスよく買う

長期投資

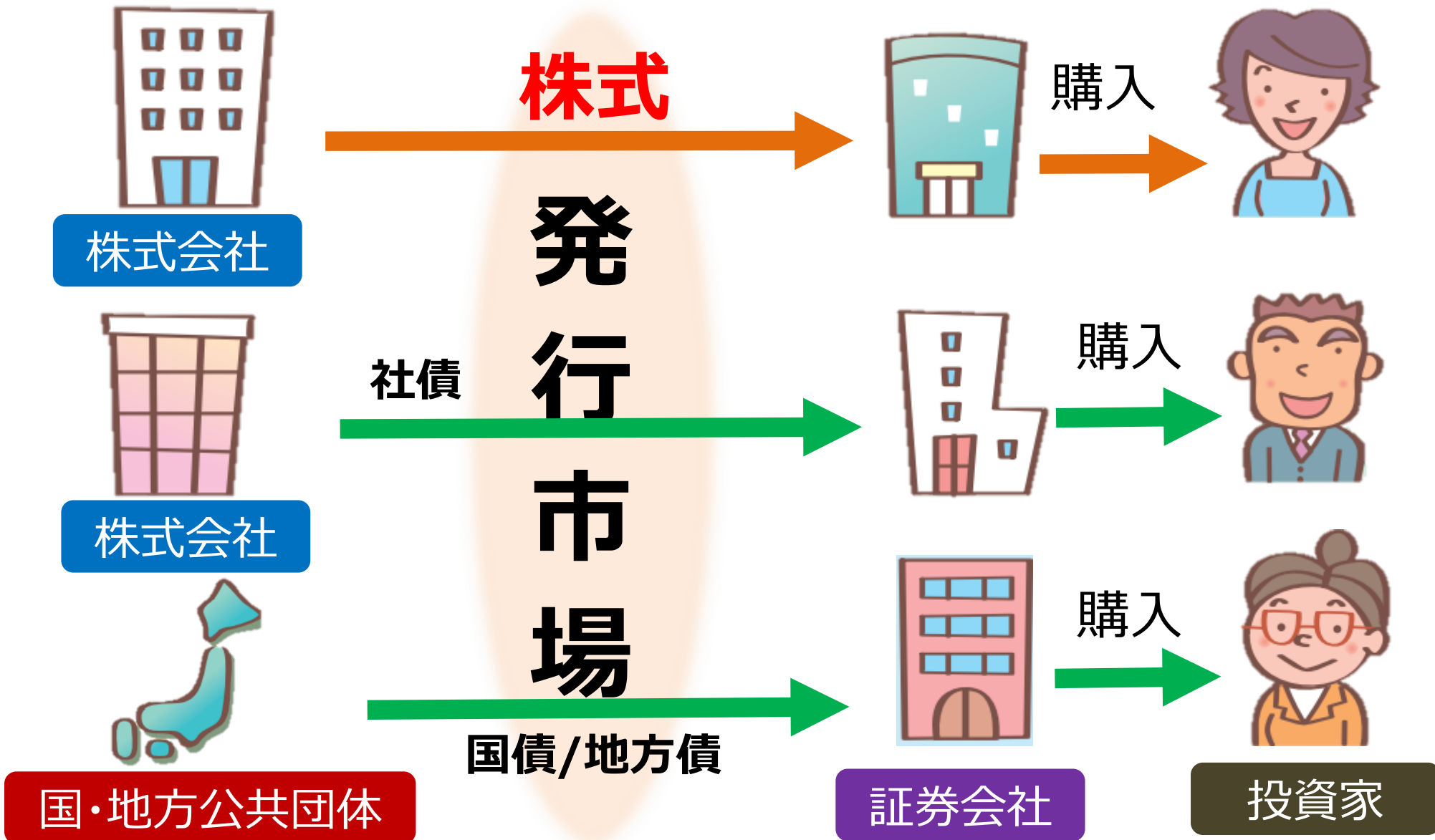
短期的ではなく長期的な成長に期待する

※外国株式の場合は、為替変動リスクやカントリーリスクも

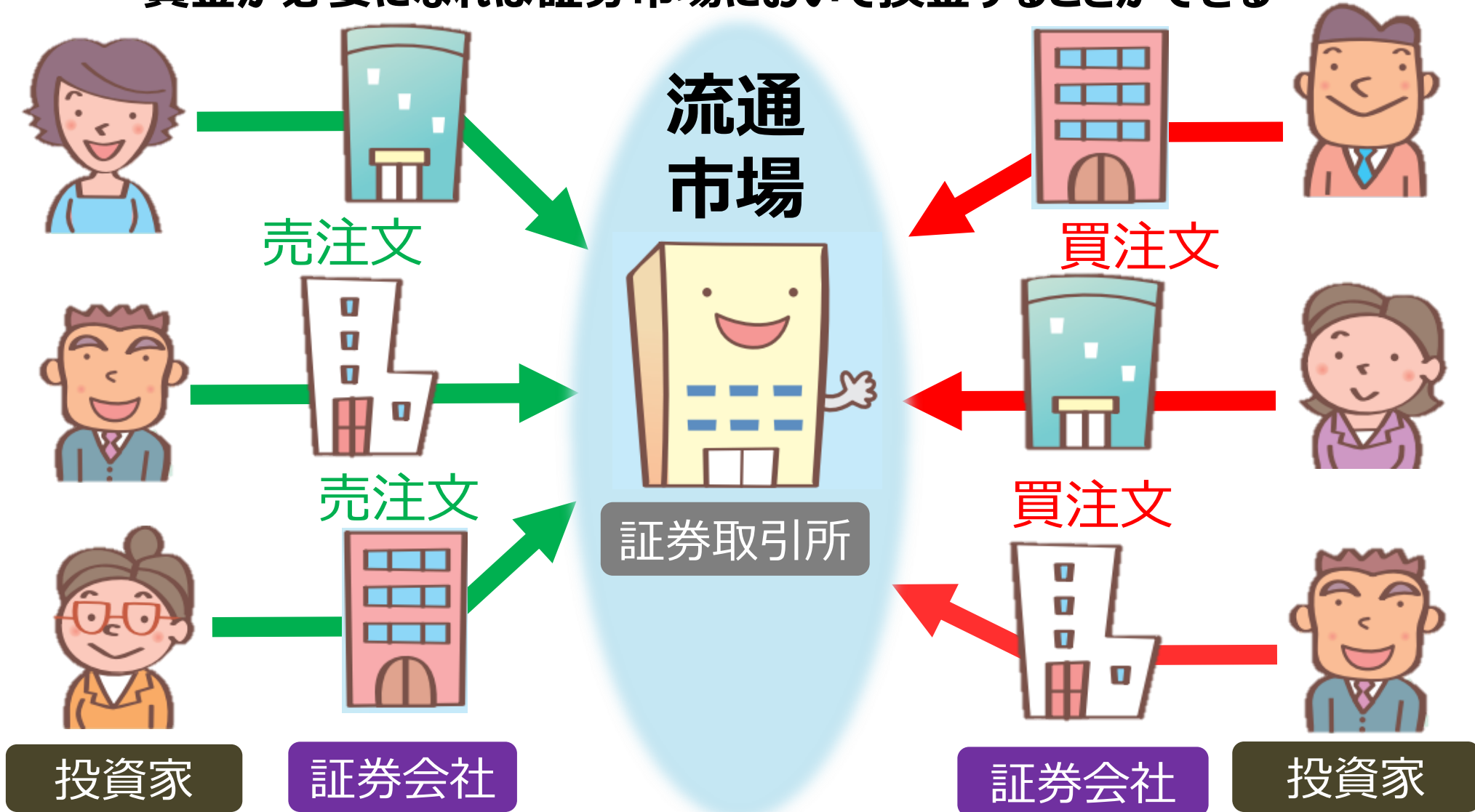
株式投資の仕組み



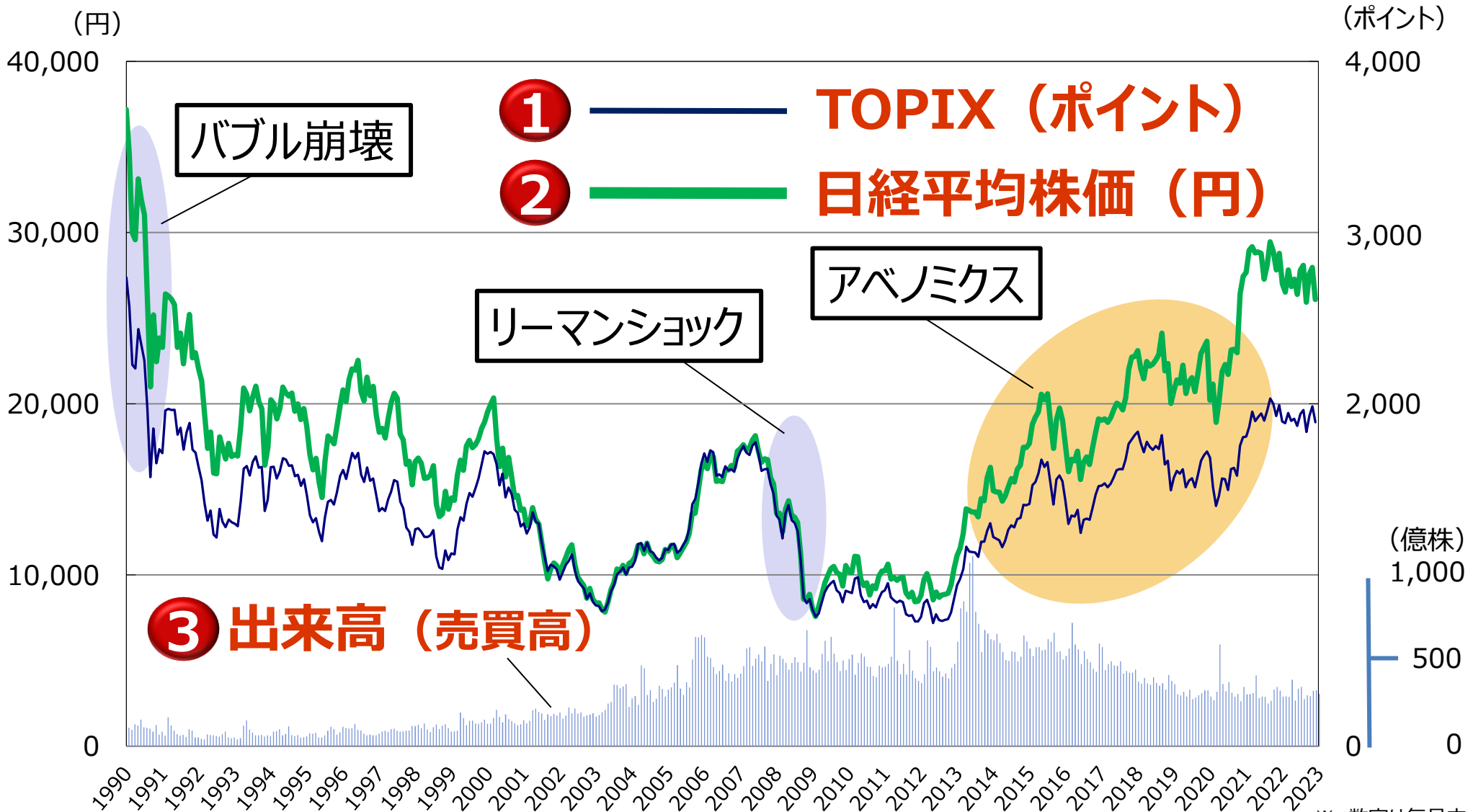
株式投資の仕組み



資金が必要になれば証券市場において換金することができる



株式指標の推移



※ 数字は毎月末
2022年12月末迄
(日経平均株価は日本経済新聞社の著作物です)

株価を動かす要因



どんな会社に投資？

株主優待を楽しみたい

株主優待のある銘柄に投資をして、商品や割引券を受取れるのが楽しみです。



身近な商品・サービスを提供しているお気に入りの会社を選びたい

よく利用している商品やサービスの中から、業種が異なる会社で分散投資をしています。



企業を応援したい

地元企業や、環境に配慮した取り組みを行っている企業の株式を購入しています。株式投資はがんばっている企業の応援にもなりますよね！



ESG投資

ESG要素※に配慮した企業の株式に投資するという選択肢もあります。

※環境(**E**nvironment)、社会(**S**ocial)、ガバナンス(**G**overnance)

株式投資により、その会社を応援することは、**投資を通じた社会参画**という一面もあります。

冷静に会社の**経営状況を調べる**ことが大切

- ◆ 「債券」とは、国や地方公共団体、会社などが発行している**借用証書**のようなもの
- ◆ 満期時に受け取れる金額や、利子の金額などの条件が**あらかじめ決められている**

債券投資の魅力

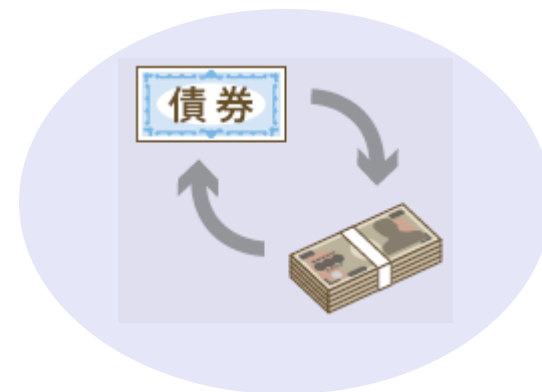
満期時に受け取れる
額面金額



定期的に受け取れる
利子



途中で売却可能



価格変動リスク

途中売却する場合、価格が上がることや下がること

信用リスク

元本の払い戻しや利子の支払いが、**約束通り行われる**～滞る、または**約束通り行われない**こと

リスクに対応

償還（満期）まで保有するつもりで投資

債券の格付けを確認

※外国債券の場合は、為替変動リスクやカントリーリスクも

債券投資の仕組み



投資家



証券会社等が
投資家と
会社等を仲介

① 資金提供



② 債券の発行



③ 利子の受取り



④ 満期償還



額面金額が戻る

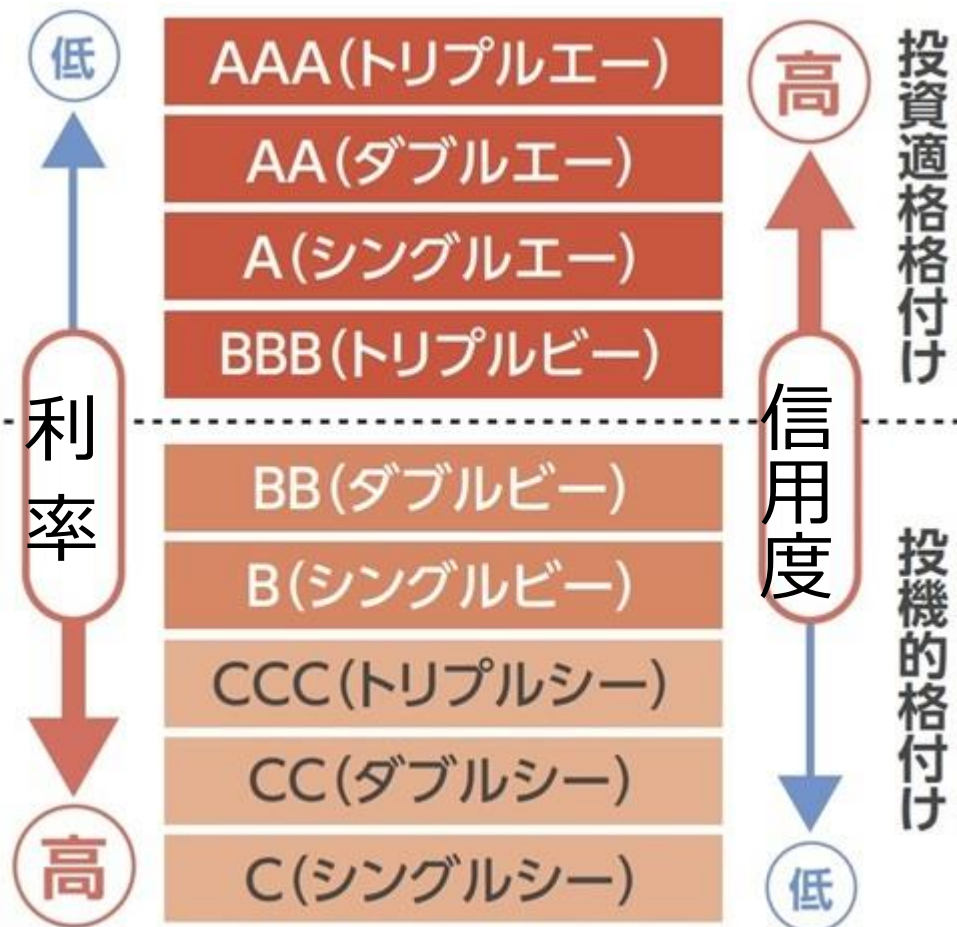


**国
地方公共団体
会社など**

「格付け」は、格付会社が評価した債券ごとの信用度

あくまでも格付会社の意見

※主な格付け会社…日本格付研究所、格付投資情報センター、ムーディーズ、スタンダード&プアーズ など



信用度が高いものほど

- ⇒ 需要（投資家）**多**
- ⇒ 債券価格**高**、利率**低**
- ⇒ 収益は**低**
- ⇒ **ローリスク・ローリターン**

信用度が低いものほど

- ⇒ 需要（投資家）**少**
- ⇒ 債券価格**低**、利率**高**
- ⇒ 収益は**高**
- ⇒ **ハイリスク・ハイリターン**

株式や債券などを組み合わせたパッケージ商品

投資信託の魅力

専門家が運用



投資の専門家が、投資家に代わって運用してくれる※

1万円程度の 少額で投資可能



多額の資金を準備する必要がない

毎月決まった金額で買い付ける積立投資なら、500円や1000円程度の少額で購入できる場合もある

分散投資で リスクを軽減



分散投資をする詰め合わせ商品なので、リスクの軽減につながる

※ 専門家が運用しても必ず利益を出してくれるわけではない


価格変動リスク

買付時より値上がりや値下がりすること

信用リスク

運用に組み入れた投資先の会社等の一部が将来経営悪化や破たんする可能性があること

リスクに対応



時間分散

一度に買わず、タイミングを何度かに分けて買う

銘柄分散

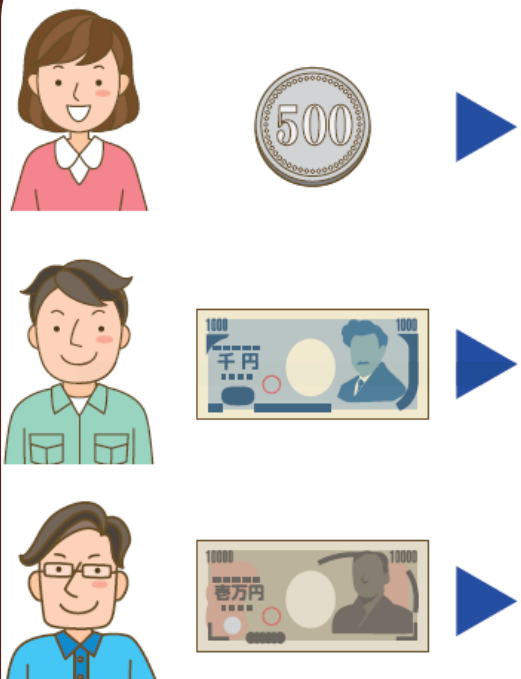
投資対象の異なる投資信託に分散投資する

長期投資

短期的ではなく、長期的な視点で運用する

※外国の株式や債券に投資する投資信託の場合、カントリーリスクも

少額から
投資



投資家

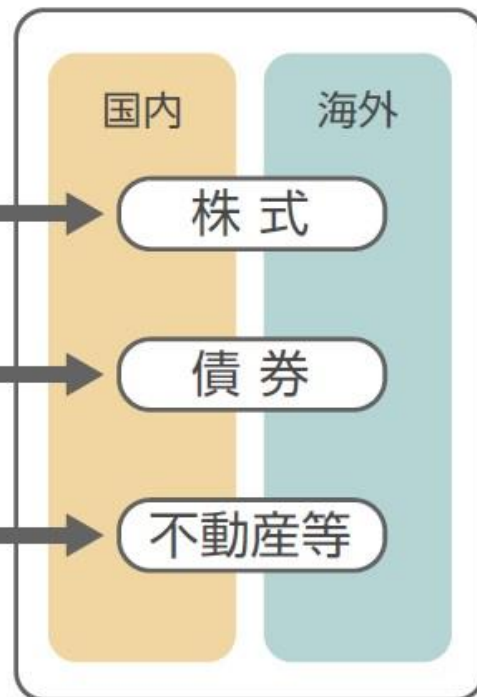
専門家が運用
(運用会社)



投資信託
(ファンド)

資金をまとめる

様々な投資対象に分散投資



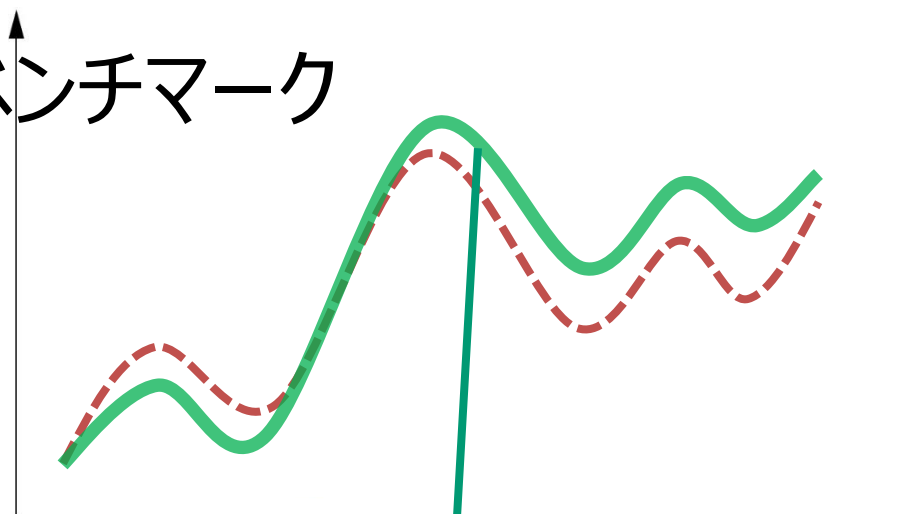
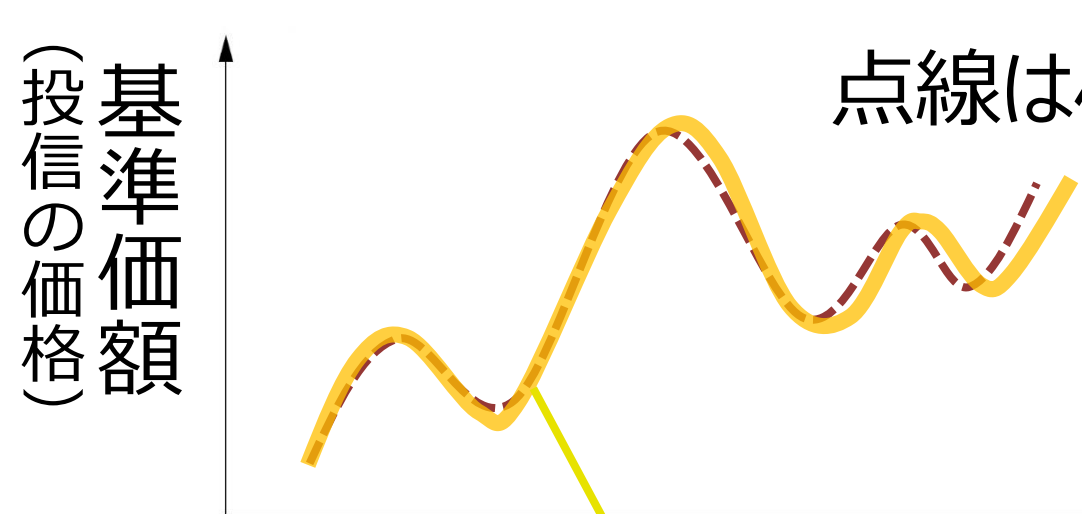
収益の分配

まとめた資金は
信託銀行が管理

どんな方法で運用するか

パッシブ運用

アクティブ運用



ベンチマークへの連動を目指す

ベンチマークは目安の指標のこと

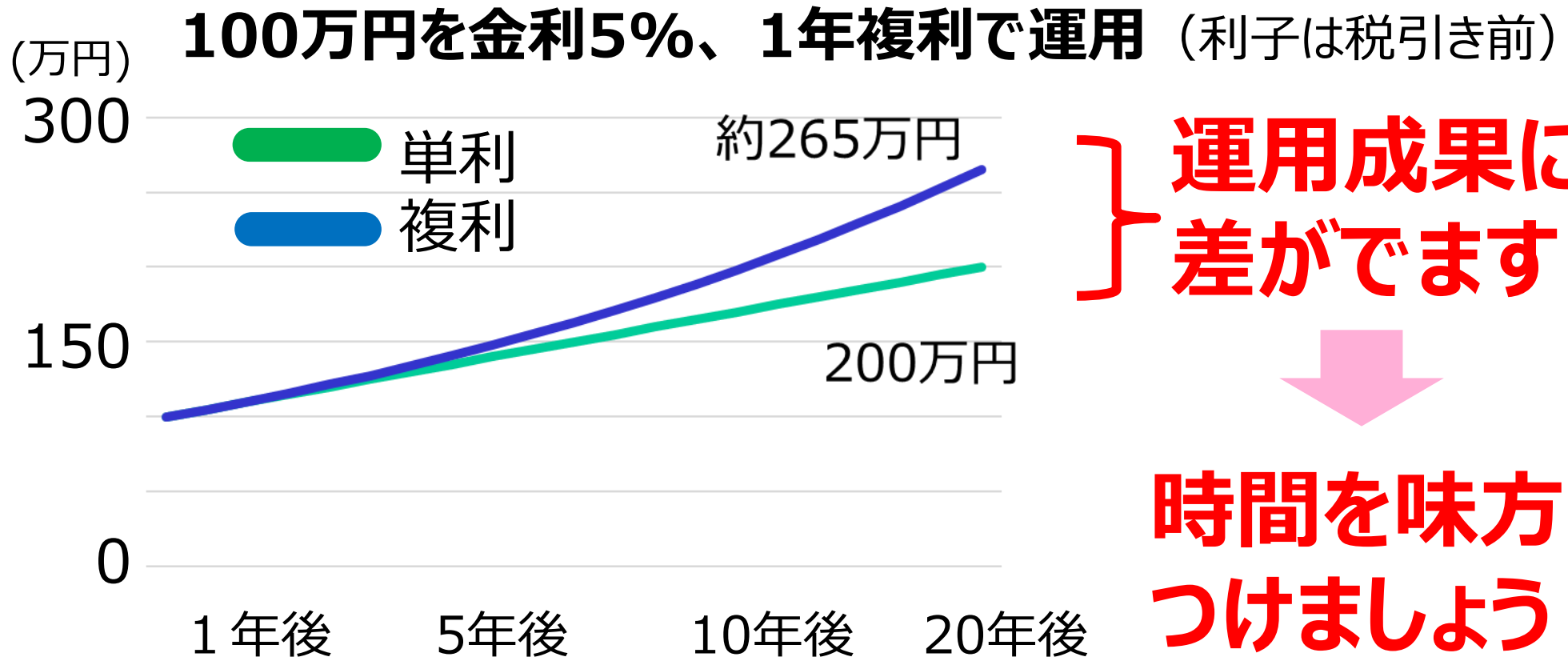
※ 日経平均、TOPIXなど

ベンチマークを上回る
成果を目指して
積極的に運用

運用方法「長期・積立・分散」

単利と複利

- **単利** ⇒ 預け入れた元本にのみ、利子を計算する方法
- **複利** ⇒ 発生した利子を元本に足し、新しい元本として利子を計算する方法



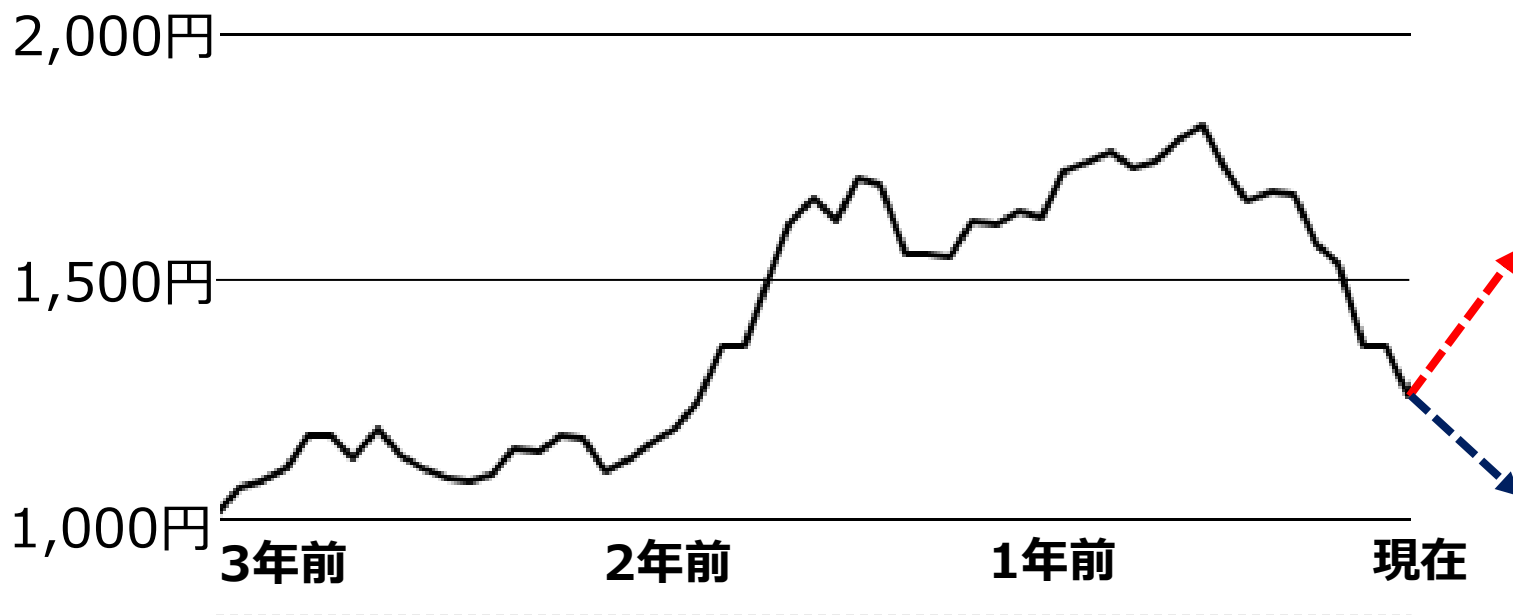
運用方法「長期・積立・分散」 投資のタイミングと積立投資

とう
し
10/4は
証券投資の日



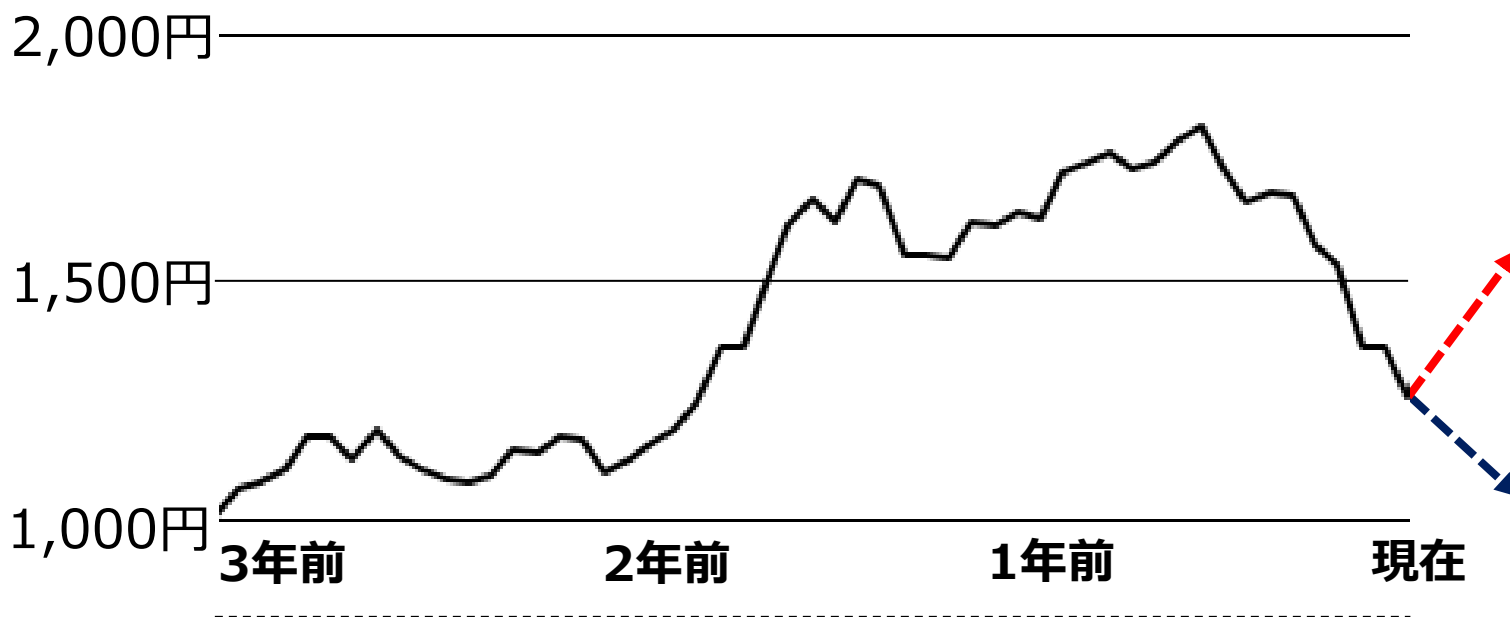
下のグラフは、ある金融商品の
約3年間の値動き（1,000円～2,000円）です。

この後の価格の動きを予想してみましょう。



運用方法「長期・積立・分散」 投資のタイミングと積立投資

下のグラフは、ある金融商品の
約3年間の値動き（1,000円～2,000円）です。



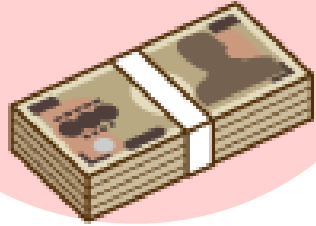
未来は予測
できない

だから、積立投資！

金融商品の購入方法には3通りあります

一括購入

手持ち資金全額で
一度に購入



例：一度に5万円分購入

定額購入

（ドル・コスト平均法）

毎回、決められた金額ずつ購入



例：毎月1万円ずつ購入

定量購入

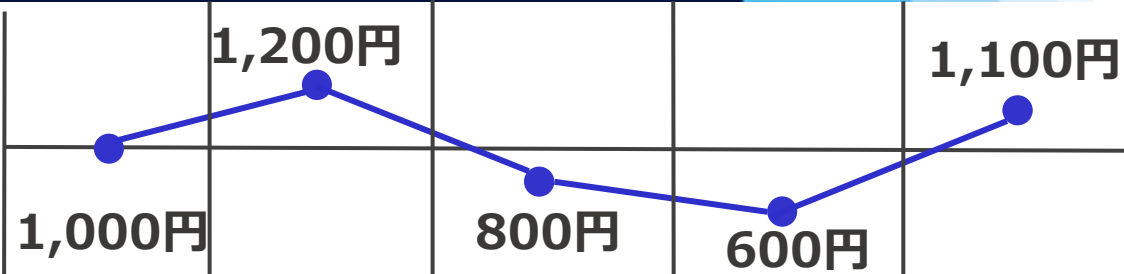
毎回、決められた数量ずつ購入



例：毎月10株ずつ購入

どれが一番 効率的か比較してみましよう

運用方法「長期・積立・分散」 積立投資（ドル・コスト平均法）

株価の動き						合計 株数・ 金額	平均 購入 単価	
	1,000円	1,200円	800円	600円	1,100円			
一括 購入	株数 (株)	50	0	0	0	0	50	1株 当たり
	金額 (円)	50,000	0	0	0	0	50,000	1,000
定量 購入	株数 (株)	10	10	10	10	10	50	1株 当たり
	金額 (円)	10,000	12,000	8,000	6,000	11,000	47,000	940
定額 購入 (ドル・コスト 平均法)	株数 (株)	10	8.3	12.5	16.6	9.0	56.4	1株 当たり
	金額 (円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	886.5

一定の金額

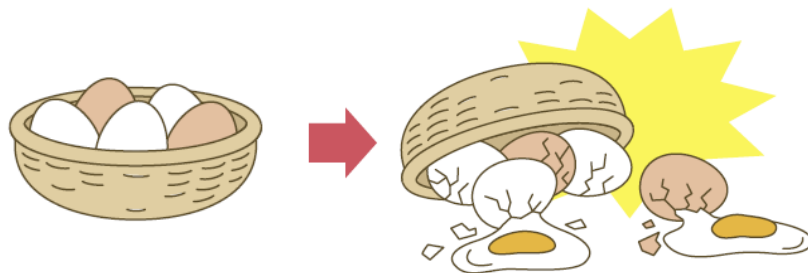
運用方法「長期・積立・分散」 ドル・コスト平均法の利点

- ◆ 平均購入単価はドル・コスト平均法が**低い**
- ◆ 株価が**高い時は少なく、安い時は多く**購入するため
- ◆ 購入金額が一定のほうが**資金計画も立てやすい**

株価の動き		1,000円	1,200円	800円	600円	1,100円	合計	平均購入単価
定額購入法	株数(株)	10	8.3	12.5	16.6	9.0	56.4	1株当たり
ドル・コスト平均法	金額(円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	886.5

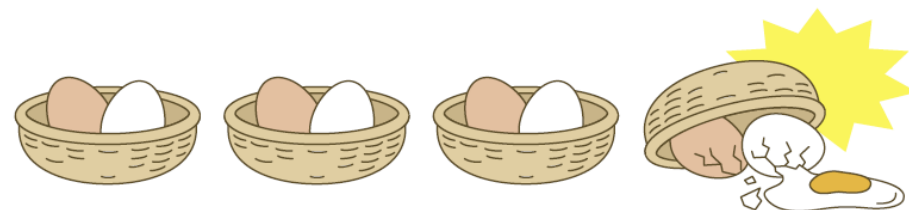
投資の世界の合言葉！ 「ひとつのカゴに卵を盛るな」

卵を1つのカゴに
全部入れた場合
(投資先が1つ)



カゴを落としたときに
全てがダメに…

複数のカゴに分けた場合
(投資先を分けた場合)



1つを落としてしまっても、
残りは大丈夫！

運用方法「長期・積立・分散」 分散投資～主な分散方法は3つ

とうし
10/4は
証券投資の日



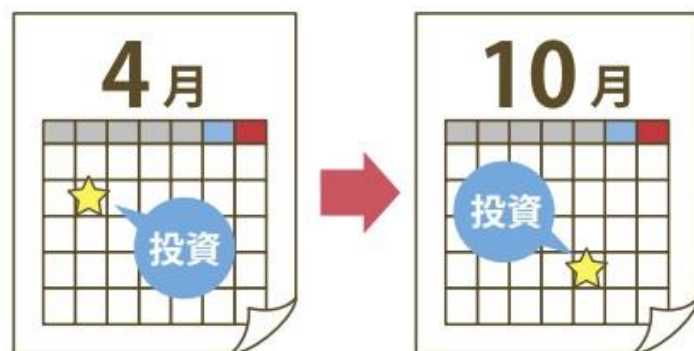
資産の分散



地域の分散



時間の分散



定額購入法
(ドル・コスト平均法)

投資に際して“どの程度リスクを引き受けられるか”

リスク許容度が低い

小さい

浅い

多い

安定志向

収入・資産額

投資経験

今後の
ライフイベント

性格

リスク許容度が高い

大きい

豊富

少ない

リスク志向

運用方法「長期・積立・分散」 金融商品の組合せを考える

自分のリスク許容度を加味して 金融商品の組合せ（**ポートフォリオ**）を考えましょう

収益性が高い
金融商品

国内株式
など

預貯金
など

国内債券
など

流動性・安全性
が高い金融商品

ポートフォリオの例

安全性の高い
金融商品

コツコツと長期に資産運用を行う場合には、税金を含めたコストが運用成績に大きく影響します

金融商品から生じる主な収益

- ・利息・・・金融機関から預貯金者に対して支払われるお金
- ・配当金・・・株式投資で、企業の収益の中から株主に支払われるお金
- ・売却益・・・株式等を売却して得た利益
- ・分配金・・・投資信託の利益の中から購入者に支払われるお金

基本的には**20%**の税金がかかります ※

例

種類	金額	税額	手取り金額
利息	10円	2円	8円
配当金	5,000円	1,000円	4,000円
売却益	10万円	2万円	8万円
分配金	1,000円	200円	800円

ただし、預貯金の利息や公社債投資信託の分配金・売却益等はNISAの対象外

これらの税金
0% (非課税)
になる制度

NISA

**確定拠出年金
iDeCo**

※ 税率は20%（所得税15%、住民税5%）が適用されています。ただし、2013年1月1日以降、所得税15%に対し2.1%の復興特別所得税（ $15\% \times 0.021 = 0.315\%$ ）が課せられているため、税率は**20.315%**となります。

資産形成支援制度の活用

NISAとiDeCo

将来に備えた資産運用を考える場合には、資産形成支援制度の活用を検討しよう！

		新しいNISA		iDeCo
		つみたて投資枠	成長投資枠	
対象商品		株式投資信託、 ETF	株式投資信託、 株式、ETF、REIT	投資信託、 預金、保険
年間投資限度額		120万円	240万円	14.4～81.6万円 ※職業等で拠出可能額が異なる
非課税保有限度額		1,800万円（両枠合計） うち1,200万円まで		年間限度額×運用年数
税制優遇	拠出時 (拠出額に対して)	優遇措置なし	優遇措置なし	所得控除 (所得税・住民税軽減)
	投資で得た利益 (運用益に対して)	非課税	非課税	非課税
	払出時 (払出額に対して)	課税されない	課税されない	課税される (退職所得控除また 公的年金等控除あり)
払出し制限		制限なし	制限なし	原則60歳以降
対象年齢		18歳以上	18歳以上	20歳以上～65歳未満

成年年齢が引き下げられました！

2022年4月1日より成年年齢が引き下げられ、18歳、19歳の方が親の同意を得ずに締結した契約であっても、取り消すことが出来なくなりました
よく理解できない金融商品は、安易に購入しないようにしましょう

うまい話にご用心！投資詐欺

世の中、“必ずもうかる” “スゴクもうかる”投資話はありません
『ローリスク・ハイリターンの商品はない！』など正しい金融商品の知識を身に付けましょう！

困ったときは、一人で悩まずに

- 「消費者ホットライン TEL188」にご相談ください
身近な消費生活センターや消費生活相談窓口をご案内します
- 金融サービスについては、金融庁や業界団体等が相談窓口を設置しています

Q1. 世の中には安全で大儲けできる金融商品
があると思いますか？ →**ありません！！**

Q2. 投資って社会の役に立っているので

しょうか？ →**政府や企業の活動に貢献する仕組み
になっています！！**

10
月
4
日
証券投資の日



1

ライフイベントの実現にかかるお金を把握して
計画的にお金を準備しよう

2

若いうちから目的を持って、お金を貯めることを
心掛けよう。できればお金にも働いて貰おう

3

主な**金融商品**について理解し、理解できない
金融商品には投資しないことが大切

4

金融の正しい知識が詐欺を未然に防ぐ
怪しいと思ったらひとりで悩まず相談を！

日本証券業協会ホームページ

基本から、きちんと知りたい人のための「投資の時間」



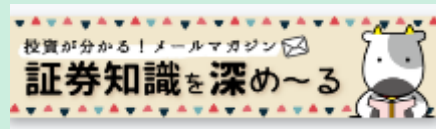
★投資について、「1から」楽しく学べるコンテンツが盛りだくさんです♪



投資の時間は
こちらから→

<https://www.jsda.or.jp/jikan/index.html>

ぼくも楽しみにしている
メールマガジンもあるよ♪
是非登録してね!



メルマガの登録
はこちらから→



証券知識普及プロジェクト
マスコットキャラクター
「とうしくん」